

令和4年度第3回（第57回）地方独立行政法人鳥取県産業技術センター評価委員会

1 日 時 令和4年10月26日（水）10：30～12：00

2 場 所 オンライン開催

3 内 容

（審議内容）第5期中期目標について

（1）県から第5期目標制定へ向けて、事務局が作成した素案の説明を行った。

（2）意見交換

○センターも昔と比べれば当然、人が変わってきているし、理事長もまた変わってきているが、やはり目標を制定するにあたっては、何を重要な指標にするのか県の意見を明確に示したほうが良い。

○まずは技術移転件数を、最重要目標（KGI）として掲げる事務局案に違和感はないが、企業へのサービス提供以外の業務運営・組織運営のところに数値的な目標が何もなくても良いのか。その意味では外部資金の獲得等についても目標があっても良いのではないかと。KGIを1つだけ置くという案であるが、片手落ち感を感じる。

○組織としての大きな目標であるKGIは1つで良いのではないかと。そして、その1つのKGIを達成するためのKPIはセンターが自分たちで定めたほうが良い。

○技術移転件数以外に、センター利用のすそ野を広げられるようなKGIが必要ではないかと。1つではなく2つあっても良い。県内企業の駆け込み寺的なセンターの役割を維持発展させていかなければいけないと思う。兵庫県には民間企業で株式会社神戸工業試験場という会社があるが、鳥取県内の企業でもそこを使っているところはけっこうある。その意味ではまだまだセンターの相談対応のキャパシティを広げていく必要もあると感じている。

○第4期中期目標では数値目標の項目が多すぎた。あれだけ数値目標が多いと、数字、数字になってしまい、4年間の柔軟な組織運営ができなくなる。次の第5期ではそうならないように、KGIの数を絞っていく方向は良いと思う。

⇒意見交換終了

・事務局から、評価委員の意見を第5期中期目標の策定にいかしていきたい旨、説明し、評価委員会を終了。

（以上）